

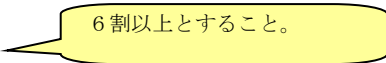
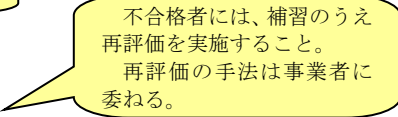
修了評価の方法

評価基準作成者：矢部 賢太

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 中央法規出版 初任者研修テキスト 1・2 より出題 その他講義内容から出題</p> <p>2 出題形式 ○×選択式、記述式</p> <p>3 出題数 試験問題A ○×選択式問題 12問(配点 60点) 記述式 7問(配点 23点) 合計 19問(83点)</p> <p>試験問題B ○×選択式問題 12問(配点 60点) 記述式問題 7問(配点 32点) 合計 19問(92点)</p> <p>4 合否判定基準 合計点の60%相当とする 合格 問題A 50点以上 問題B 56点以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none">結果発表後1時間の補修講義を行い再評価を行います再評価の合格点数は60点とする補修講義1時間、再評価料は3,000円とする再評価は3回までとし不合格者は未終了扱いとなる
------------	--

修了評価の方法

評価基準作成者： _____

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none">「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。〇〇テキスト〇ページから〇ページまでの間で出題する。 等々 <p>2 出題形式</p> <p>四肢択一形式及び記述形式とする。 等々</p> <p>3 出題数</p> <ul style="list-style-type: none">択一問題〇問（配点〇点）、記述式問題〇問（配点〇点） 全問正解：〇点満点「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から〇問 等々 <p>4 合否判定基準</p> <p>〇点以上 </p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none">結果発表後、直ちに〇時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は〇点以上とする。 補習料：1時間あたり〇円 再評価料〇円再試験を最大〇回まで実施する。 なお、再試験の結果、不合格であった者には・・・ 再試験料：1回あたり〇円不合格者には、修了評価者が直ちに個別指導を行い・・・ 等々 
------------	---